

協会賞

火曜ドラマ

『逃げるは恥だが役に立つ』

(株)TBSテレビ 船山 和歌子



受賞者のコメント

プロデューサーから最初に言われた、リアルよりも夢のある空間、夢を盛り込む世界観にしたい、という一言が、ずっと私の中でテーマとしてありました。--- リアルのもうちょっと先、視聴者が見て「ああ、素敵」ってまず思えるような空間です。とにかくそこを基本にして、どうやったら「逃げ恥」の面白さが出せるか、「逃げ恥」のリアリティになるかっていうことを考えて作っていきました。



船山さん

受賞理由

オーソドックスな日常の様々な設定に的確に対応したデザインは、出演者を際立たせるとともにバランス良く抑えの利いた空間を創りだし、社会現象化したドラマの演出に美術として大きく寄与している。

新人賞

(株)アックス 宇野 宏美



受賞者のコメント

中学生の頃から、TBSの「うたばん」という音楽番組が好きで、そのセットをやりたくて、ずっと美術の勉強をしてきました。そしてこの世界に入ったとき、その夢が実現したんです。うれしくて、うれしくて。始めのうちは、見えないところで、涙を流していました。自分の描いた線が、何十倍にもなって、そこで実際にアーティストが歌っているのを見たら、やっぱり感動してしまいますよね！



宇野さん

受賞理由

コンセプトの段階から計画的にデザインされた空間構成は美術的な完成度が高く、幅広くねらいを具現化できる存在として将来にわたり活躍が期待される。

特別賞

山田 満郎

受賞理由

バラエティ番組史に残る生放送での大仕掛けな屋台崩しや瞬時のセット転換を緻密な安全計画によるデザインで確立されたテレビ美術への貢献、また、理事、事務局長、監査として当協会を永年支えてくださった故人の生前の功績に対して。

受賞者のコメント

私が生まれたときは、父が「8時だよ！全員集合」にかかりっきりの時でした。今スケジュールを見てもベタに一週間休みなしです。だからたまに家に帰ってきてても、出ていくときは、父に向かって「また来てね」と言ったそうですよ。いま父が生きていれば、たくさん話してくれると思うんです。証言はできるだけ残しておかなければ、どんどん消えて行ってしまいうということを実感しています。(山田太平さん談)



ご子息の山田太平さん